

2028年度 版画専攻 総合型選抜における試験方法の変更について

版画研究室

絵画学科版画・プリントメディア専攻（2027年4月より版画専攻から改称）では、2028年度入学者選抜（総合型選抜）より、試験方法を以下の通り変更いたします。

変更の理由と目的

本専攻では、受験生の皆さんの多様な制作経験や関心領域、そして表現の基礎的な力をより多角的に評価するため、新たな試験方法を導入することといたしました。

変更後の試験内容

1. 一次審査：ポートフォリオ審査：出願時に提出。

これまでの制作をまとめたポートフォリオによる審査です。皆さんの興味・関心や潜在的な可能性、基本的な表現力（発想力、編集力、描写力など）を評価します。

◇対象となる作品：これまで制作してきた作品（版画に限らず、絵画、立体、写真、コラージュ、ドローイングなど自由）。もちろん、デッサンを含めても問題ありません。

2. 二次審査：1日目（体験授業による評価）：試験会場で実施。

コラージュ課題による体験授業を行います（コラージュの考え方や方法に関する講義のあと、教員のアドバイスを受けながら各自で制作します）

◇評価のポイント：課題への取り組み方、理解力、失敗を恐れない意欲、コミュニケーション力、そして版画・プリントメディアに求められる「自由な発想力」や「イメージの編集力・描写力」を多角的に評価します。

◇メッセージ：体験授業では、たとえ制作物が思うようにならずに失敗したとしても、プロセスにおける皆さんの基本的な資質や意欲を重視します。

3. 二次審査：2日目（面接）：試験会場で実施。

実際の作品を持参してもらい、プレゼンテーションと面接を行います。入学後の学びの意欲や、将来の目標について深く掘り下げていきます。

◇持参する作品：ポートフォリオと同様に、絵画、立体、版画、写真、コラージュ、ドローイングなど自由です。自由課題による制作物が無くても、受験対策用に制作したデッサンや色彩表現などの作品だけでも構いません。ご自身の関心や能力、資質が最も発揮されていると思える作品をお持ちください。

受験生の皆さんへ

今回の変更は、皆さんが「何に興味を持ち、これからどう伸びていくか」という潜在的な可能性（ポテンシャル）をしっかりと見極めるためのものです。これまでの活動や、ご自身の表現したい世界をぜひリラックスして見せてください。詳細な出願の手続きや提出方法については、確定し次第、募集要項にてお知らせいたします。

※試験内容の詳細は、2027年7月に公開予定の募集要項をご確認ください。